



ふくおか産学共創コンソーシアム（仮称） 設立と

よろず相談「分析NEXT」について

（公財）九州先端科学技術研究所（ISIT）
産学官共創推進室

川畑 明



九州先端科学技術研究所 (ISIT) の立地



伊都地区

九州大学
伊都キャンパス

ISIT
本部・IT研究拠点 (1995~)
(福岡SRPセンタービル)

ISIT
ナノテク研究拠点 (2008~)
(福岡市産学連携交流センター)





九州大学 (伊都キャンパス)

伊都地区



福岡市産学連携交流センター (FiaS)

- ISIT ナノテク研究・産学官連携の拠点
- 分析機器室、分析・解析よろず相談室、等の支援体制



2015年 3月 理化学研究所、九州大学および福岡市による地方発イノベーション創出に向けた連携協定書締結

- 福岡市における理化学研究所・九州大学等の連携本格化
- 産業界との連携強化へ

2017年 3月 第一回イノベーションフォーラム 産学連携で創る未来 (研究・技術シーズ発信)

- 最初の交流機会

6月 ISIT産学官共創推進室の設置 (内閣府地方創生交付金事業)

- 連携・支援体制の拡充
- 福岡発のイノベーションに取り組むネットワーク形成に向けた連携強化

産学連携で創る未来
～九州企業とのオープンイノベーションを目指して～

平成29年3月30日(木)
フォーラム 13:30～17:00 (受付開始 12:30)
交流会 17:15～19:00

会場 西鉄グランドホテル 2階 風風の間
福岡市中央区大名2-6-60 地下鉄天神駅2番出口から徒歩1分

定員 100名(先着順) 会場 フォーラム 無料 交流会 2,000円

プログラム

- 産学連携の現状 理化学研究所・九州大学・福岡市
- 理化学研究所 Kim表面科学研究所 金 有洋 主任研究員
エレクトロニクス分野のイノベーションの推進と産学連携の重要性
- 九州大学 工学研究科 安達 平彦 主任教授
産学連携によるイノベーションの推進と産学連携の重要性
- 九州大学 先端物質化学研究所 田中 賢 教授
産学連携によるイノベーションの推進と産学連携の重要性
- 九州先端科学技術研究所 オープンイノベーション推進室
イノベーション創出に向けた取り組み
- 理化学研究所 大森重材工学研究室 大森 眞 主任研究員
先端材料分野のイノベーションの推進と産学連携の重要性
- 九州大学 工学研究科 藤岡 周平 教授
産学連携によるイノベーションの推進と産学連携の重要性
- 九州大学 カンパニョナル・エネルギー国際研究所 藤川 茂記 准教授
カンパニョナル・エネルギー分野のイノベーションの推進と産学連携の重要性
- 九州先端科学技術研究所 川崎 勇 専任理事
産学連携によるイノベーションの推進と産学連携の重要性

交流会
○ 交流会

主催 理化学研究所 九州大学 福岡市
共催 〔公財〕九州先端科学技術研究所 〔公財〕九州大学先端研究推進機構
後援 九州経済産業局 (一社)九州経済連合会 福岡商工会議所
協賛 福岡地産地消推進協議会 福岡経済研究会

講演者・講演内容のご紹介

理化学研究所 Kim表面科学研究所 金 有洋 主任研究員
九州大学 工学研究科 安達 平彦 主任教授
九州大学 先端物質化学研究所 田中 賢 教授
九州先端科学技術研究所 オープンイノベーション推進室 藤川 茂記 准教授
理化学研究所 大森重材工学研究室 大森 眞 主任研究員
九州大学 工学研究科 藤岡 周平 教授
九州大学 カンパニョナル・エネルギー国際研究所 藤川 茂記 准教授
九州先端科学技術研究所 川崎 勇 専任理事

お問い合わせ・参加お申込み
Eメール ika@isit.or.jp FAX番号: 092-733-5901

サイエンス&イノベーションフォーラム in Fukuoka

平成29年 12月15日(金)
13:30～17:00 (受付開始 12:30)
定員 100名 (先着順) 交流会 3,000円

会場 電気ビル みらいホール
福岡市中央区天神2丁目1番5号 電気ビル5階4号

会場 フォーラム 無料 交流会 3,000円

プログラム

- 13:30 開会式
- 13:45 講演1 理化学研究所 金 有洋 主任研究員
エレクトロニクス分野のイノベーションの推進と産学連携の重要性
- 14:00 講演2 九州大学 安達 平彦 主任教授
産学連携によるイノベーションの推進と産学連携の重要性
- 14:15 講演3 九州大学 田中 賢 教授
産学連携によるイノベーションの推進と産学連携の重要性
- 14:30 講演4 九州先端科学技術研究所 藤川 茂記 准教授
カンパニョナル・エネルギー分野のイノベーションの推進と産学連携の重要性
- 14:45 講演5 九州大学 藤岡 周平 教授
産学連携によるイノベーションの推進と産学連携の重要性
- 15:00 講演6 九州大学 藤川 茂記 准教授
カンパニョナル・エネルギー分野のイノベーションの推進と産学連携の重要性
- 15:15 講演7 九州先端科学技術研究所 川崎 勇 専任理事
産学連携によるイノベーションの推進と産学連携の重要性
- 15:30 講演8 理化学研究所 大森 眞 主任研究員
先端材料分野のイノベーションの推進と産学連携の重要性
- 15:45 講演9 九州大学 藤川 茂記 准教授
カンパニョナル・エネルギー分野のイノベーションの推進と産学連携の重要性
- 16:00 講演10 九州先端科学技術研究所 川崎 勇 専任理事
産学連携によるイノベーションの推進と産学連携の重要性
- 16:15 講演11 九州大学 藤岡 周平 教授
産学連携によるイノベーションの推進と産学連携の重要性
- 16:30 講演12 九州大学 藤川 茂記 准教授
カンパニョナル・エネルギー分野のイノベーションの推進と産学連携の重要性
- 16:45 講演13 九州先端科学技術研究所 川崎 勇 専任理事
産学連携によるイノベーションの推進と産学連携の重要性
- 17:00 講演14 理化学研究所 大森 眞 主任研究員
先端材料分野のイノベーションの推進と産学連携の重要性

交流会
○ 交流会

主催 理化学研究所 九州大学 福岡市
共催 〔公財〕九州先端科学技術研究所 〔公財〕九州大学先端研究推進機構
後援 九州経済産業局 (一社)九州経済連合会 福岡商工会議所
協賛 福岡地産地消推進協議会 福岡経済研究会

講演者のご紹介

理化学研究所 Kim表面科学研究所 金 有洋 主任研究員
九州大学 工学研究科 安達 平彦 主任教授
九州大学 先端物質化学研究所 田中 賢 教授
九州先端科学技術研究所 オープンイノベーション推進室 藤川 茂記 准教授
理化学研究所 大森重材工学研究室 大森 眞 主任研究員
九州大学 工学研究科 藤岡 周平 教授
九州大学 カンパニョナル・エネルギー国際研究所 藤川 茂記 准教授
九州先端科学技術研究所 川崎 勇 専任理事

お問い合わせ・参加お申込み
Eメール ika@isit.or.jp FAX番号: 092-808-3814

12月15日 共同イベント「サイエンス&イノベーションフォーラム in Fukuoka」開催

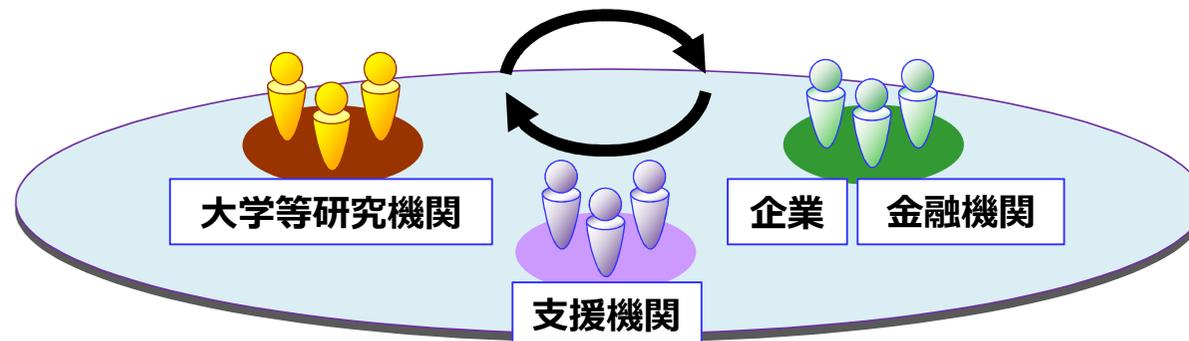
ふくおか産学共創コンソーシアム（仮称）の立ち上げ

地域におけるイノベーション創出と地域経済発展を目的として

- ①地域における研究・開発型のスタートアップや中小・中堅企業、大学等研究機関、金融機関、産業支援機関など、様々な主体が、組織や業種の垣根を越えて交流・連携できる場（環境）をつくり、
- ②その場から、多くの交流・連携活動が自律的に生まれるための支援活動を行う

ことで、**中小企業の研究開発力の向上やスタートアップの創出・育成など**
地方発イノベーション創出を推進する。

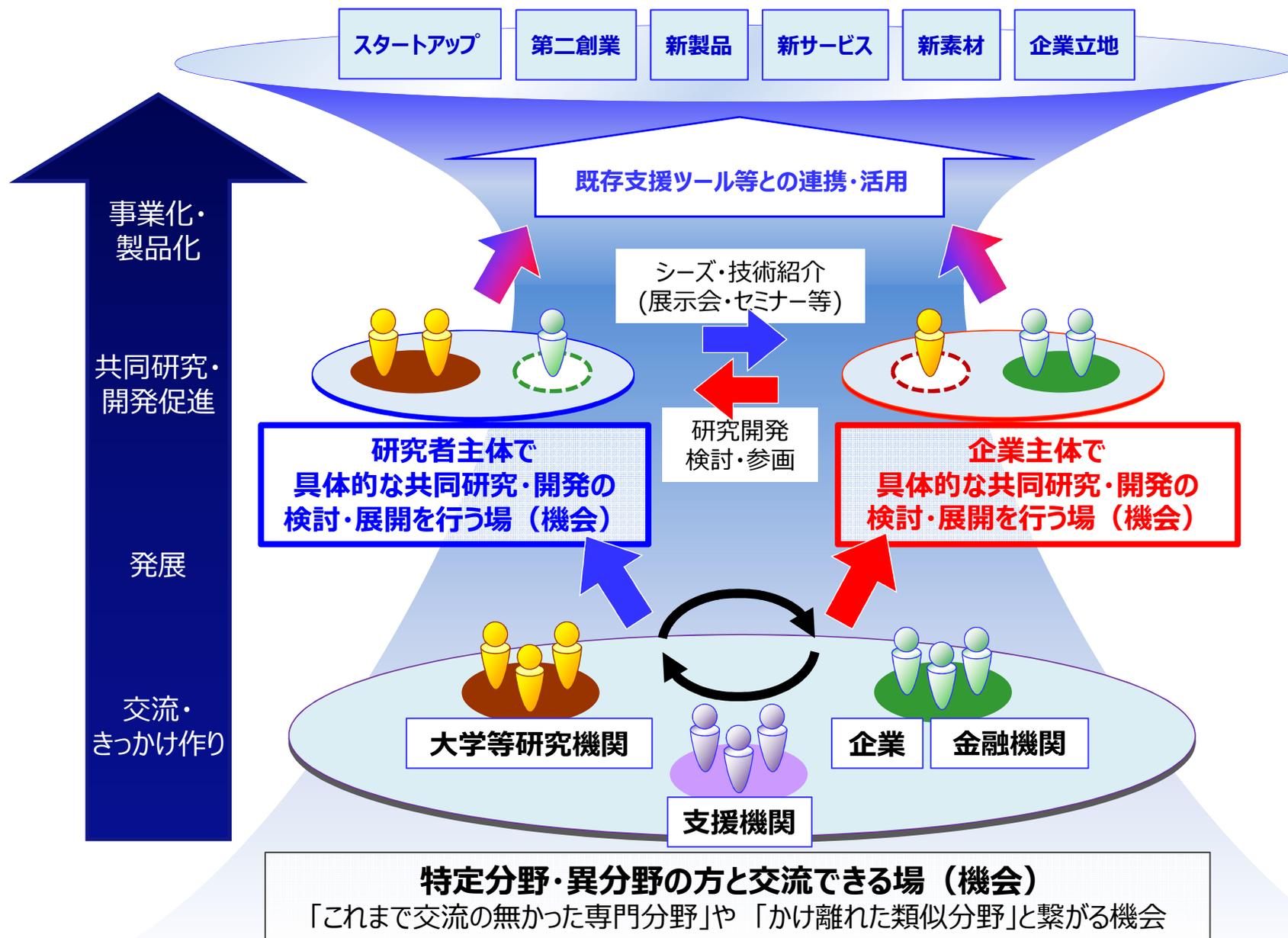
交流・
きっかけ作り



特定分野・異分野の方と交流できる場（機会）
「これまで交流の無かった専門分野」や「かけ離れた類似分野」と繋がる機会



ふくおか産学共創コンソーシアム（仮称）の取組み



スタートアップ

第二創業

新製品

新サービス

新素材

企業立地

既存支援ツール等との連携・活用

シーズ・技術紹介
(展示会・セミナー等)

研究者主体で
具体的な共同研究・開発の
検討・展開を行う場 (機会)

企業主体で
具体的な共同研究・開発の
検討・展開を行う場 (機会)

研究開発
検討・参画

大学等研究機関

企業

金融機関

支援機関

特定分野・異分野の方と交流できる場 (機会)

「これまで交流の無かった専門分野」や「かけ離れた類似分野」と繋がる機会

事業化・
製品化

共同研究・
開発促進

発展

交流・
きっかけ作り

(1) 交流・きっかけ作り

普段なら出会うことのない専門分野・異分野の情報にも触れられる、
 または人と出会える場（機会）の構築と交流を促進する。

<事例>

**イノベーション・フォーラム
 （情報発信・交流機会）**



<事例>

**技術体験会（電子顕微鏡）
 九州大学未来化学創造センター連携**

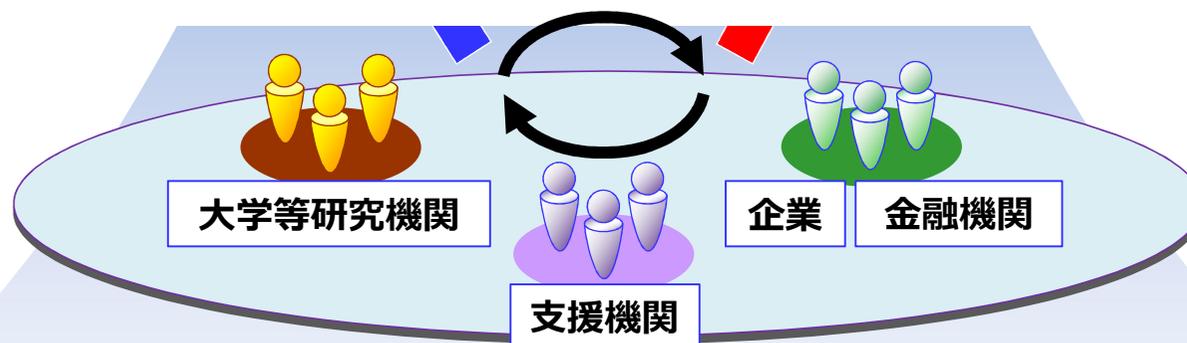


<事例>

**サイエンスカフェ
 （機運醸成）**



交流・
 きっかけ作り



特定分野・異分野の方と交流できる場（機会）
 「これまで交流の無かった専門分野」や「かけ離れた類似分野」と繋がる機会

(2) 発展

よろず相談分析NEXTによる課題解決支援や、技術・学术交流・セミナー等で生まれたつながりを深化させ、共同研究・開発促進へつなげる。

<事例>



<事例>

